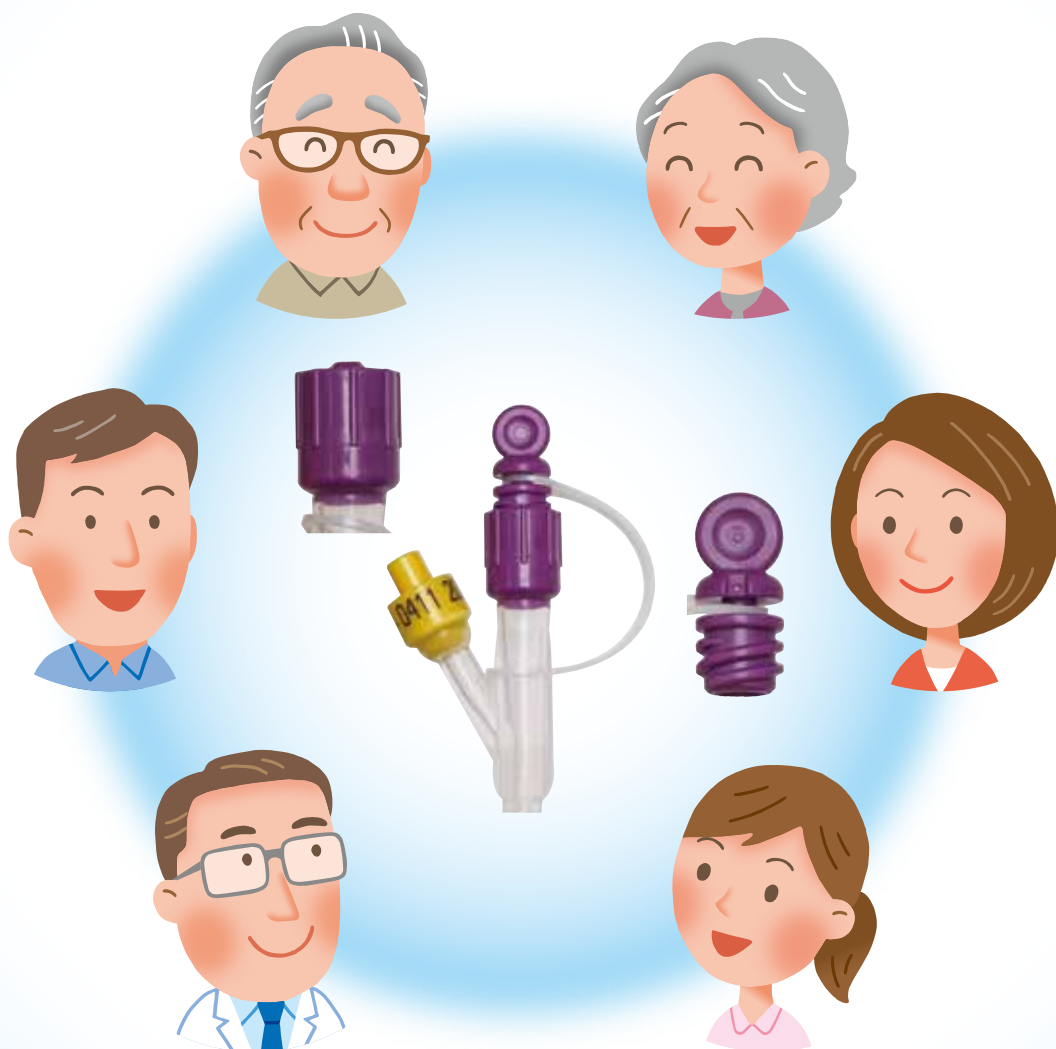


胃ろう(PEG)カテーテルのコネクタがISO規格品に変更されました

# 胃ろうカテーテルのコネクタの 新しい接続方法 ガイドブック



## はじめに

医療機器の誤接続による医療事故防止を目的に、栄養投与用製品のコネクタ（接続口）に関する国際規格が制定されました。これに従い、現在ご使用いただいております「胃ろうカテーテル」の接続口が変更され、取り扱い方も変わります。

### 何で変わったの？

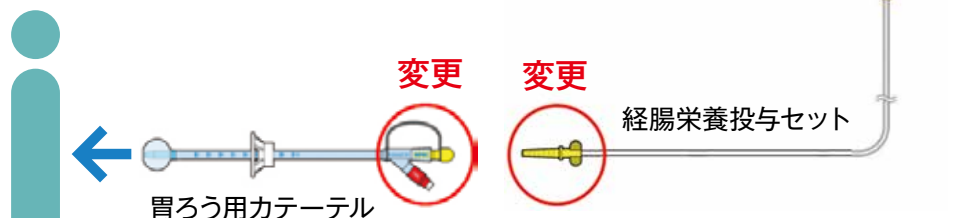
栄養投与ルートとその他のライン（輸液ライン等）の誤接続による事故が世界的に増加したため、誤接続防止を目的として経腸栄養チューブのコネクタの新規格 ISO 80369-3 (ISO：国際標準化機構) が設定されました。

我が国においても2018年3月に、厚生労働省より「経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えについて」と題した通知文書が出され、切り替えが推進されています。

### どう変わったの？

胃ろうカテーテルのコネクタ（接続口）に、他のカテーテル（輸液ライン等）が相互接続できない構造に変わりました。

※経腸栄養投与セットと流動食との接続部は変更ありません。



これにより、コネクタや栄養投与セットの接続口の形状や接続方法が変わりますので、注意が必要です。

本ガイドブックでは、新規格品の概要や新しい接続方法をご紹介します。正しい取り扱い方法をご理解いただき、事故のない栄養補給の一助となれば幸いです。

# 1. 胃ろうカテーテルの コネクタが変更されました

- ① 栄養投与用製品のコネクタ（接続口）は、国際規格の制定により、現在ご使用いただいている「胃ろうカテーテル」の接続口が次のように変更されます。



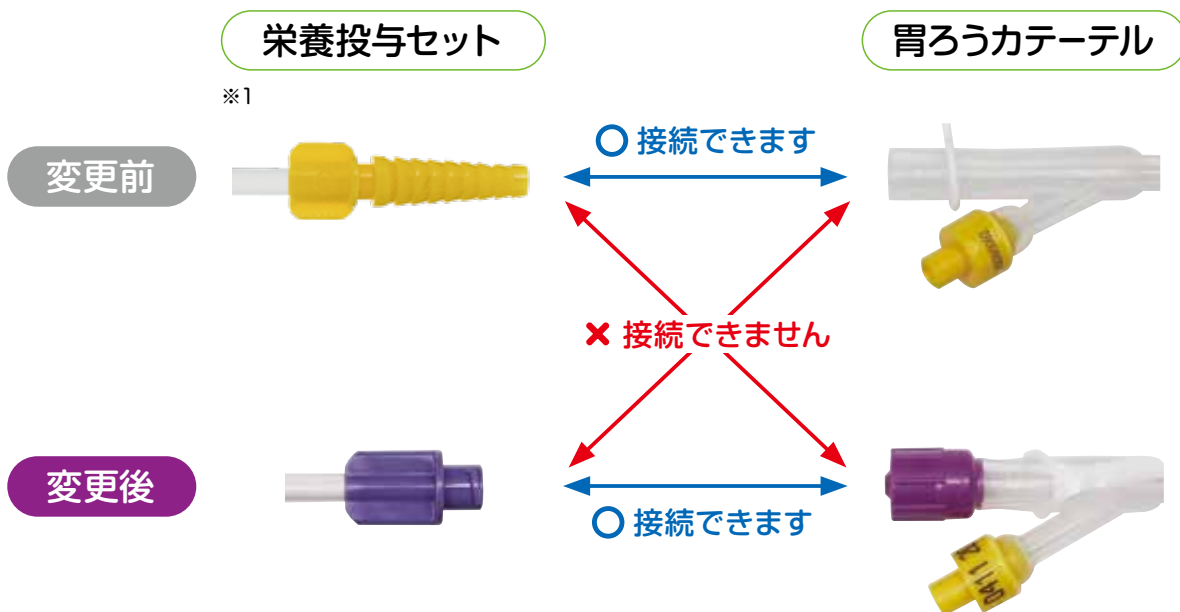
- ② また、栄養投与セットの接続口も次のように変わります。



※1 画像提供：株式会社ジェイ・エム・エス

## 1. 胃ろうカテーテルのコネクタが変更されました

③ これらの変更により新旧コネクタ間の接続はできなくなります。ご注意ください。



④ もし胃ろうカテーテルの接続口が新タイプで、栄養投与セットの接続口が旧タイプの場合は、「EN変換コネクタ(タイプA)」をご用意しております。主治医の先生にご相談ください。

販売名	: EN変換コネクタ
種類名	: タイプA
医療機器届出番号	: 34B1X00001000105
品目コード	: 800 001 6487
製造販売元	: 株式会社ジェイ・エム・エス



## 2. 胃ろうカテーテルと 栄養投与セット等との接続方法

- ① 胃ろうカテーテルのキャップを反時計回りに回してキャップを外します(写真①)。

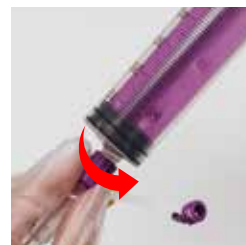


①

- ② ISO 80369-3の規格に対応するシリンジを使って、最低10mLの微温湯でカテーテルの内腔をフラッシングします。胃ろうカテーテルのコネクタにISO 80369-3対応のシリンジを接続し、時計回りの方向にシリンジを回します(写真②)。この時、締め付けすぎに注意してください。



②



③

- ※ シリンジを回して硬くなってきたところで締め付けを止めてください。締め付けすぎると破損又はシリンジが外れなくなる恐れがあります。

フラッシングが終わったらシリンジを反時計方向に回してシリンジを外します(写真③)。

- ③ 栄養剤等を入れた栄養投与セットを準備します。チューブ内に栄養剤等を満たす場合は、チューブの先端(コネクタの先端)に達する前に栄養剤等を止めてください。コネクタの先端に栄養剤等が付着(写真④)したら、清潔なガーゼ等で余分な栄養剤等を拭き取ってください(写真⑤)。



④



⑤

- ※ コネクタの先端に栄養剤等が付着するのを防止することで、胃ろうカテーテルのコネクタが汚れにくくなります。

## 2. 胃ろうカテーテルと栄養投与セット等との接続方法

- ④ 栄養投与セットのチューブを時計回りに回しながら胃ろうカテーテルのコネクタに接続します(写真⑥)。この時、締め付けすぎに注意してください。

※栄養投与セットのコネクタを回して、硬くなってきたところで締め付けを止めてください。締め付けすぎると破損又は栄養投与セットのコネクタが外れなくなる恐れがあります。



⑥

- ⑤ 栄養剤等の投与が終了したら、栄養投与セットのコネクタを反時計回りに回して胃ろうカテーテルから取り外します(写真⑦)。



⑦

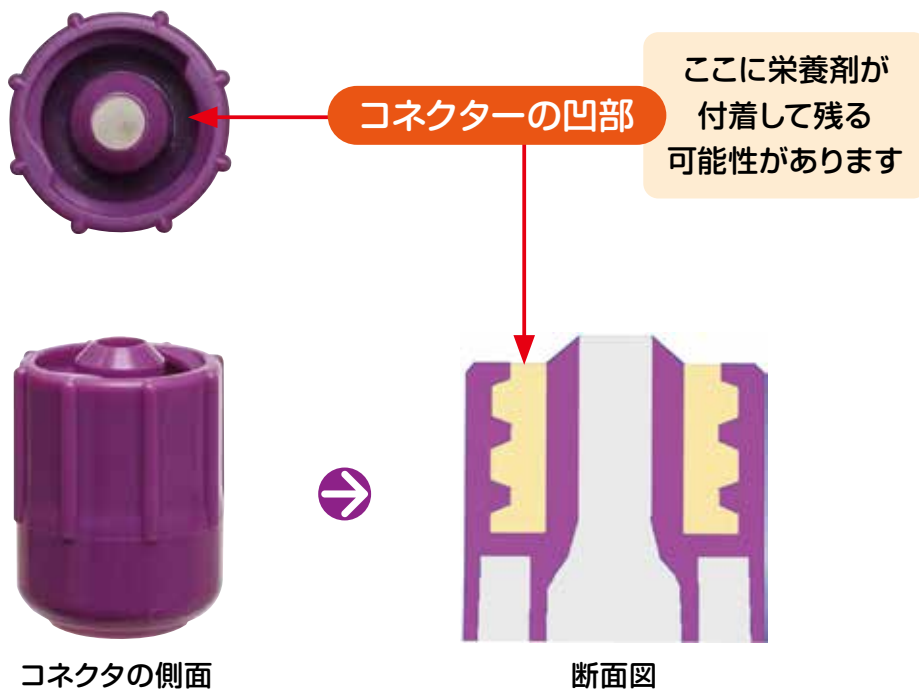
- ⑥ 最低10mLの微温湯を入れたISO 80369-3対応のシリンジを②の手順で胃ろうカテーテルのコネクタに接続して、フラッシングをします。フラッシングが終わったら②の手順でシリンジを外します。

- ⑦ 胃ろうカテーテルのコネクタに付着した栄養剤等を微温湯で洗い落としてから、キャップを締めます。

\* コネクタの洗浄方法については「3. コネクタの洗浄」の項を参照して下さい。

### 3. コネクタの洗浄

新しいコネクタ（接続口）はその構造上栄養剤等がコネクタの凹部に残ってしまう可能性がありますので、栄養剤等の投与が終了したらコネクタを洗浄するようにしてください。



### 3. コネクタの洗浄

#### ① コネクタを清潔に保つコツ

コネクタ（オスコネクタ）の凹部に栄養剤等が付着しないよう、栄養剤等の注入を開始する前に次の点について注意してください。

- ① 予め栄養投与チューブに栄養剤等を充填する場合は、栄養剤等がチューブ先端のコネクタに到達する前に充填を止めてください。

※コネクタの先端に余分な栄養剤等が付着しないようにします。

コネクタの先端に栄養剤等が付着した場合は、清潔なガーゼ等を使って余分な栄養剤等を取り除いてください。

- ② ISO 80369-3 対応のシリンジを使って栄養剤等を注入する場合は、シリンジで栄養剤等を吸い上げたら、シリンジの先端を清潔なガーゼ等で拭いて、余分な栄養剤等を取り除いてください。

- ③ 栄養剤等の注入が終わったら直ぐにオスコネクタを洗浄してください。

※オスコネクタに付着した栄養剤等が乾いてしまうと、栄養剤等が落ちにくくなってしまいます（写真⑧）。



⑧



### 3. コネクタの洗浄

#### ② オスコネクタを洗浄時の注意点

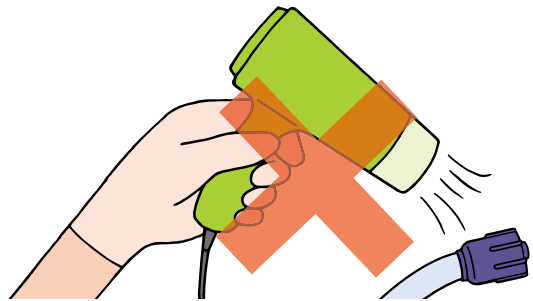
- アルコールを使ってオスコネクタを洗浄しないでください。

※オスコネクタが破損する可能性があります。



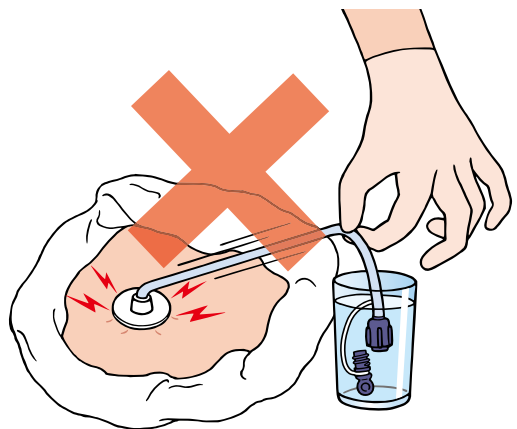
- オスコネクタは乾燥機等を使うなど、熱をかけて乾燥させないでください。

※オスコネクタが変形、破損する可能性があります。



- 患者さんに留置されている状態でカテーテルを洗浄する場合はカテーテルを強く引っ張るなどしてカテーテルに負荷がかからないように注意してください。

※バルーントラブルなどに伴うカテーテルの事故抜去に繋がる可能性があります。



### 3. コネクタの洗浄

#### ③ 洗浄方法

##### 洗浄方法 1

**注) 胃瘻交換用カテーテル(クリニー コンパクトタイプ)をご使用の場合は、  
下記の方法で洗浄しないでください。  
(カテーテルに負荷がかかりバルーントラブル等の原因になります。)**

- ① 微温湯を入れたコップ等にカテーテルのオスコネクタ部を  
浸します(写真⑨)。



⑨

- ② オスコネクタが微温湯に浸された状態でカテーテルを数回  
振り、付着している栄養剤等を取り除きます(写真⑩)。



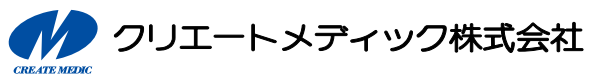
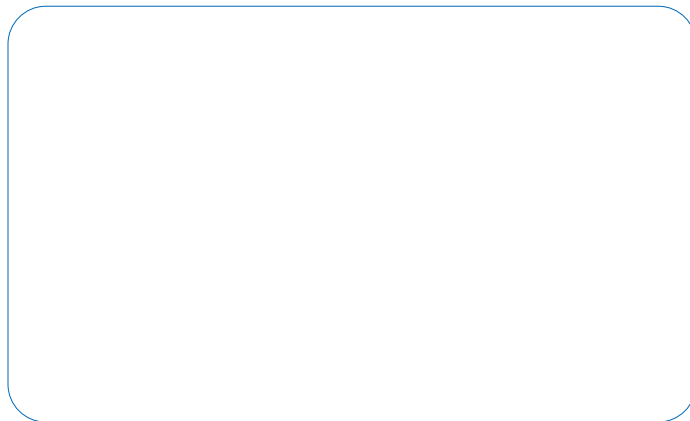
⑩

- ③ 洗浄が終わったら清潔なガーゼ等でオスコネクタに付着し  
た水分を取り除いて、自然乾燥させます(写真⑪)。



⑪





本社 横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-5-25

ホームページ: <https://www.createmedic.co.jp>